

# 9月1日まで締切延長！！

お席に余裕がございますので、お誘い合わせの上、ご参加下さいますようお願いいたします。



会員企業代表者各位

一般社団法人  
大阪ビルメンテナンス協会  
会長 佐々木洋信

## 平成29年度 労働衛生大会開催のご案内

§平成29年度全国労働衛生週間スローガン§  
「働き方改革で見直そう みんなが輝く 健康職場」

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、毎年10月1日より実施されます全国労働衛生週間に際し、今年も大阪労働局のご指導により、右記の通り本年度（通算第32回）労働衛生大会を開催いたします。

「安全衛生」意識を一段と高揚する為にも、現場で働く従事者及び企業の安全衛生ご担当者は勿論、経営者各位も積極的にご参加下さいますようお願い申し上げます。

当日は特別講師といたしまして自身の経験や悩みから導きだしたコミュニケーション論が評判を呼び、多くの教育機関で教鞭をとられ、企業・自治体からの研修依頼も多く、自他ともに認める「大阪で一番多く教壇に立つ落語家」桂 花團治 様よりご講演を賜ります。

会場に余裕がございますので、会員企業様に再度ご案内することになりました。既にお申込み済みの企業様にも再度ご案内しておりますが、追加のお申込みがございましたらよろしくお願いいたします。

申込書送付先 FAX : 06-6372-9145 / eメールアドレス : info@obm.or.jp

申込用紙のデータ（ワード形式）をご希望の場合は、お手数ですがeメールでご請求いただきますようお願いいたします。

申込用紙請求eメールアドレス : info@obm.or.jp

敬具

♪抽選で90名様に「素敵な品物」を、  
又参加者全員に記念品をご用意しております♪

記

- 日時 平成29年9月14日（木）13:30 ～ 16:50  
※受付は12時40分よりいたします
- 会場 ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）7階ホール  
大阪市中央区大手前1丁目3-49  
TEL 06 - 6910 - 8500  
京阪及び地下鉄谷町線「天満橋」下車、東へ徒歩約5分  
JR東西線「大阪城北詰」下車、西へ徒歩8分  
（別添案内図をご参照ください）

3. 参加費 無 料

4. 次 第

開 会 挨拶	13:30	会長	佐々木 洋信
ご 挨拶	13:40	大阪労働局 労働基準部 健康課 課長	中田 昌志氏
ご 講演	13:50	大阪労働局 労働基準部 健康課 労働衛生専門官 『 ①治療と職業生活の両立支援について ②化学物質管理について ③腰痛災害について 』	山口 浩光氏
D V D 上映	14:40	『 受けよう、活かそう！ストレスチェック 』	
————— 休憩（20分間） —————			
特 別 講演	15:20	落語家/大阪青山大学こども学科客員教授 『 健康に生きる笑いの力 』	桂 花團治氏
閉 会 挨拶	16:30	副会長	下村 康信
抽 選 会	16:35	労務委員会	
閉 演	16:50		

以上

# 平成 29 年度 労働衛生大会申込書

一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会  
労務委員会 御中

会社名: \_\_\_\_\_

住所: \_\_\_\_\_

T E L: \_\_\_\_\_

## ■出席者

氏名	氏名

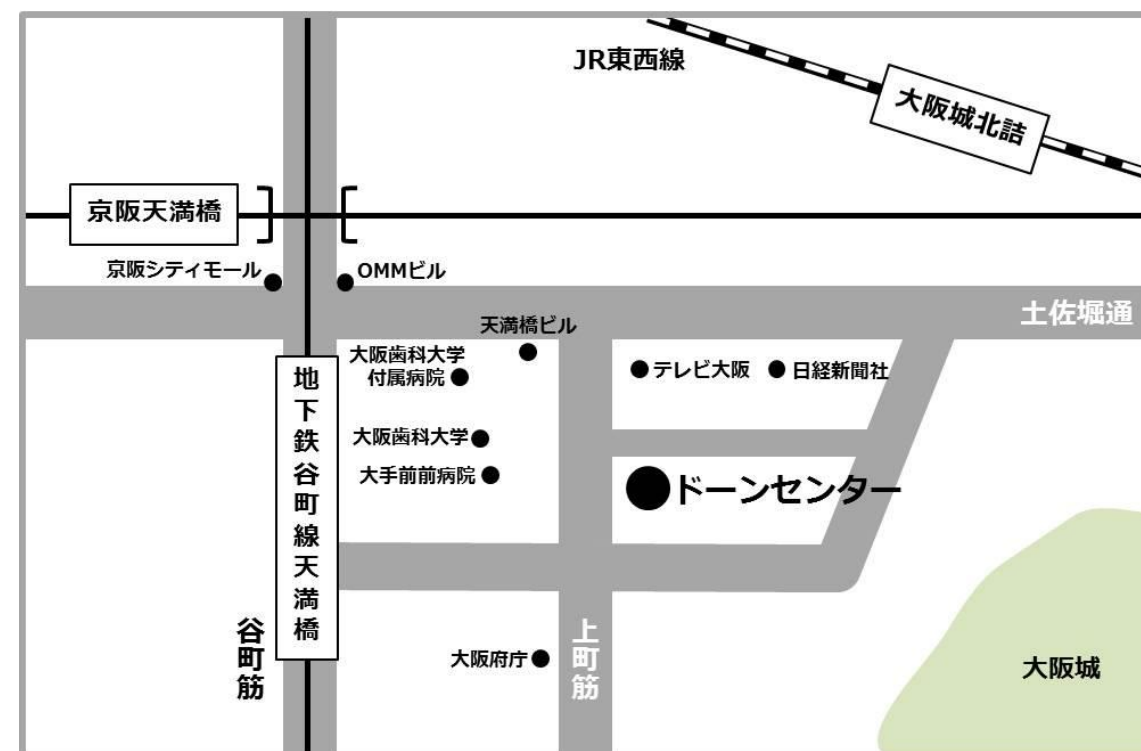
## ■協力企業

会社名	氏名

## 申込書送付先

FAX : 06-6372-9145 eメール : info@obm.or.jp

ドーンセンター  
Dawn Center (大阪府立男女共同参画・青少年センター) 案内図



## ■交通

京阪「天満橋」、地下鉄谷町線「天満橋」駅下車  
①番出口より東へ約 350m (徒歩約 5分)

JR 東西線「大阪城北詰」駅下車。  
②番出口より西へ約 550m (徒歩約 8分)

ドーンセンター  
大阪市中央区大手前1丁目3番49号  
TEL 06-6910-8500

労働衛生大会参加申込はこちらまで♪

一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会  
〒531-0071  
大阪市北区中津 1-2-19 新清風ビル 2F

TEL 06-6372-9120  
FAX 06-6372-9145  
eメール info@obm.or.jp



# 労働衛生大会特別講演

<テーマ>

安全は日ごろの心構えから  
健康に生きる笑いの力

かつら はなだんじ

桂 花團治

(落語家/大阪青山大学健康こども学科客員教授)



## ◆経歴

1962年大阪生まれ。

幼少期から吃音や赤面症になやみ、いじめを経験するも、たまたま演じた漫才で笑いをとったことから「笑わせる」楽しさを知り、いじめを克服する。20歳の時に故二代目桂春蝶の高座に一日惚れし入門。「桂蝶六」の名で内弟子生活を送る。古典落語の研究に心血を注ぐ一方、甲高い声に対するコンプレックスを解消するべく約20年間狂言を学び、今ではその「声」を活かした演目に定評がある。2015年4月に、70年ぶりの名跡復活となる「三代目桂花團治」を襲名。現在は自身の経験や悩みから導きだしたコミュニケーション論が評判を呼び、多くの教育機関で教鞭をとる。企業・自治体からの研修依頼も多く、自他ともに認める「大阪で一番多く教壇に立つ落語家」である。

## 【出演番組】

在阪を中心にした番組のレポーター（ABCわいわいサタデ、KTVワイドショーWHO、サンTVドキドキカーオークションなど）やラジオのパーソナリティー（OBCヤングラジオ、FBC蝶六あつこのしゃべくりマンモス、KBC蝶六の午後は気ままに楽市タウンなど）のレギュラーを経て、現在関西テレビCSチャンネル京都テレビ「京都1日フリーチケットの旅」の案内役として出演中。

## 【他の活動】

大阪シナリオ学校、放送芸術学院や各公民館等での「自己表現講座～落語を体験しよう～」などの講師も勤めている。

## 落語の面白さ～何にもないから何でもある

落語はイマジネーションの芸である。芝居と違って書き割りや大道具といったものがない。

小道具も扇子と手拭のみ。これを色んなものに見立てる。落語家の言葉をヒントにお客は頭の中に映像を作っていく。ほとんど何もないことが何でも表現できることに繋がっている。

人の想像の世界は無限大。ここに落語の面白さがある。

## ◆内容

笑いは毒にもなり薬にもなる。笑いの効用、弊害について知っているのと、知らないのとでは大きなちがい。笑いにも色々あって一般的なのが人と人とのコミュニケーションをつなぐ笑い。そして今、笑いが元気や健康にいい効果を発揮するということ。笑いの『ツボ』を心得ておくと、今の世の中人生楽しくなることうけあいです。故桂枝雀師匠は「笑いとは緊張の緩和である」とおっしゃいました。張りつめた気持ちがほどけた時に笑う、いい薬になると思います。

